

第2回学校運営協議会 議事録

校名	府立淀川工科高等学校
(准)校長名	阿部 政之

開催日時	平成31年1月9日(水) 15:00～16:45
開催場所	本校記念会館
出席者(委員)	川田 裕委員長、吉田 覚委員、谷平 道雄委員、宮山 雅子委員 大野 友己委員、辻井 安喜委員
出席者(学校)	阿部校長、田中教頭、井筒事務長、三谷首席、林首席、親指導教諭、向山指導教諭、奥平教務主任、藤本保健主事、松本生徒指導主事、藤原進路指導主事、安井総務主任、高橋特活主任、九野普通科主任、稗田機械系主任、草別電気系主任、齋藤メカトロニクス系主任、山下工学系主任、農端1年学年主任、荻野2年学年主任、今井3年学年主任
傍聴者	なし
協議資料	平成30年度学校経営計画、中学生体験入学総括、中学校訪問総括、学校見学会中学生参加状況、進路速報、本校の相談室の状況、遅刻入出カード他
備考	

議題等(次第順)	
1	校長あいさつ
2	報 告
①	平成30年度 学校経営計画進捗状況(阿部校長)
②	平成30年度 中学生体験入学の総括 他(安井総務主任)
	・体験入学
	・中学校訪問
	・学校見学会
③	平成30年度 進路状況(藤原進路指導主事)
④	本校の教育相談(親指導教諭)
3	協 議(議長:会長)
	質疑応答
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
◇教育相談について	
[質問]中学校と違い高等学校には支援学級がないので心配であったが、教育相談室の話を聞いて安心した。現状はどうか？	
(回答)教育相談室を常に解放している。このような府立高校は珍しい。	
【意見】教育相談については熱心に取り組んでいる。	
[質問]生活指導部と教育相談室との連携はどうか？	
(回答)生活指導部の中に教育相談係があるので連携はできている。	
[質問]教育相談室に入室する生徒の情報共有はできているのか？	
(回答)支援教育推進委員会を開催して情報共有を図っている。	
[質問]教育相談の内容の分析は行っているのか？	
(回答)分析までは行っていない。問題が長期化するので記録は残している。	
◇遅刻指導について	
[質問]遅刻カード(入室許可書)の運用の仕方と、学校全体で組織的に取り組むことが必要ではないか？	
(回答)遅刻カードは生活指導でデータ化して、学校全体的で共有したい。	
[質問]遅刻カード(入室許可書)を導入すると、休む生徒が増加しないか？	
(回答)休む生徒の増減は不明。遅刻カードは教室に入室する際の手続きであり、教員全体で生徒の遅刻指導を行うために活用したい。	
【意見】就職すれば遅刻はしないかもしれないが、高校での現在の指導が大切である。これまでのマンパワーでの指導ではなく、学校全体で取り組んで欲しい。	
◇体験入学・学校見学会・中学校訪問・入試倍率について	
[質問]1学年6クラスになると教員数は減るのか？	
(回答)現在、具体的な教員数は確認できていないが減少する。	
[質問]普通科は定員割れしにくい、工科高校はなぜ定員割れをするのか？	
(回答)工科高校は広報に力を入れているが、中学校の先生に工科高校のこともっと知ってもらおう工夫をしていきたい。しかし、来年度から出張旅費が大幅に削減される可能性があるため、広報活動の件数を増やすのは厳しい。	
【意見】工科高校の良さを中学校にアピールすることが大切である。特に保護者の関心を高める工夫が必要である。	

次回の会議日程	
日時	平成31年2月21日(木) 14:00～
会場	本校